



秋田南ロータリークラブ

国際ロータリー第2540地区 創立1980年3月8日

第1958 回例会 2023年8月17日

2023-2024年度 会長:北嶋 洋一 幹事:佐藤 守

プログラム

- 閉門・開始
- 開会 点鐘
- 黙想(15秒)
- ロータリーソング斉唱
- お客様のご紹介
- 四つのテスト 心の唱和
- 今月のお祝いのご紹介
- お食事
- 会長の時間
- ロータリーニュース
- 会務報告
- 出席報告
- ゲストスピーチ
- 閉会・点鐘
- 開門

出席報告

会員数	35名
出席数	17名
出席率	54.28%

ロータリーニュース (円)

	8/3投函額	今年度合計額
ニコニコ	5,000	45,000
財団	0	500

②ニコニコニュース

塚田貢才:8/12に南通築地の住宅で水害被害の災害ボランティアをしてきました。
早い復旧を祈ります。

加藤憲成:雄物川の花火が無事終わりました。

刀根 一:久しぶりに例会に出席でき、皆様の元気な顔を見れてにこにこです😊

北嶋洋一:お墓参りで彩雲を見ました。



ゲストスピーチ (株)Barrier Free 代表取締役 利部真太郎さん

多様な属性・価値観を包摂している状態。
年齢、性別、人種、障害、経済状況などによる差別・排除がなく
多様な人が生きやすい
インクルーシブ(=包摂的)な社会

個が有する障害特性そのものが困難さの原因ではなく、個と環境との相互作用により困難が生じる。
環境次第で困難さは軽減できる！(社会モデル)

「命」「環境」

「障害」

「困難さ」

困難さはココに存在

多属性の属性

マジョリティ性

- ・障害がない
- ・経済的に安定している
- ・中産階級で育った
- ・異性愛者
- ・生まれた時の性と性自認が一致している
- ・日本語が第一言語
- ・日本国籍

マイノリティ性

- ・低学歴
- ・地方在住

社会的な立場

生きづらさを抱える人たちへバリアフリーな社会を提供したい、経営者

無意識に言ってしまう・やってしまうある

- ・「この宿題、お母さんと一緒にやってね」
- ・「彼氏いるの？」
- ・「偏見ないから全然大丈夫！」
- ・「日本語うまいね！」
- ・「やっぱり血がつながっている人がいいよね」
- ・「女の子ってやっぱり気が利くよね」
- ・名刺をみて態度が変わる
- ・女性の前にソフトドリンク、男性の前にビール

抱えている困難さ

歩くことができない

読み書き困難がある

アプローチ方法

バリアフリーな環境をつくる

周りが映像や絵、音声読み上げなどを使用する

まとめ

- ・インクルーシブな社会とは、属性による差別・排除のない社会
- ・個人の中に「障害」があるのではなく、環境との相互作用に「障害」があると捉える。
- ・マジョリティ性のある側が特権に気づくことが大切
- ・特権をもつ側がバイアスをもったまま意思決定をすることの危険性
- ・無意識にバイアスを再生産してしまっている可能性がある
- ・差別をしていないかと思っても、無意識にマイクロアグレッションしてしまっている

国際ロータリー第2540地区HP <https://rid2540akita.org/>

【例会場】 秋田市中通1-3-5 秋田キャッスルホテル TEL018-834-1141

【事務局】 秋田市中通1-3-5 秋田キャッスルホテル TEL018-838-1764 FAX018-838-1765